

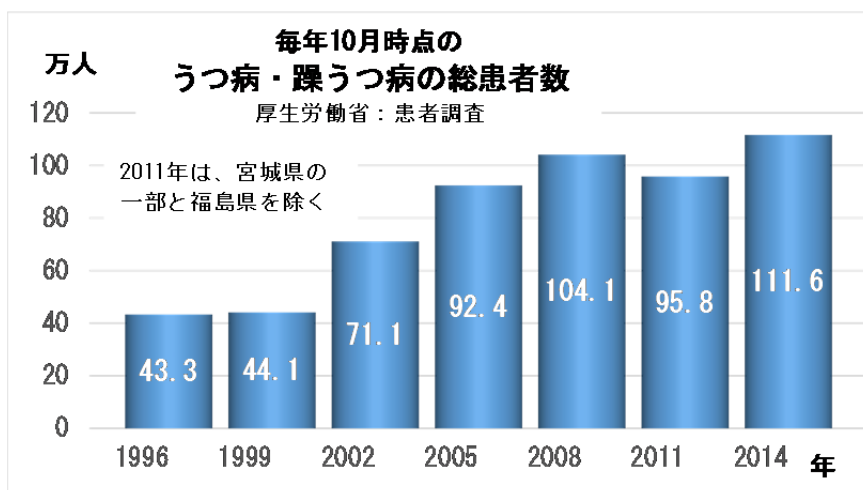
【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

もやは“軽視”できない“うつ病”問題

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【広がる“うつ病”等の心の病】

厚生労働省が3年おきに実施する“患者調査”では、うつ病や躁うつ病等の“気分障害”患者数は、入院や通院を含めると、2014年には既に111.6万人に膨れ上がっています。



しかも、これは10月の“ある1日”における患者数であり、実際には更に多くの“罹病”が想定されるのです。“うつ病”はもはや、企業経営上も無視できない問題になって来ました。

【企業としての“うつ病”問題】

“うつ病”は、生きるエネルギーの喪失状態とも言われ、たとえ軽症でも、その症状を放置すると、不注意や集中力低下によるミスの素になりかねません。重症になると、職場に出るのも苦痛になり、欠勤が続くケースも少なくないのです。

【対策検討の“糸口”は…？】

しかし、企業として何ができるのでしょうか。もちろん、企業にできることには“限界”があつてしかるべきですが、それでも、貴重な人材を守り、組織の士気を低下させないために、経営として考えるべきことがあります。何よりもまずは、その“検討”の糸口を見つけ出すことが重要です。

【マネジメント・レポートを購読しませんか？】

そんな“うつ病”の現状や対策検討の糸口をまとめたマネジメント・レポートを、定期購読希望者には完全版を送ります。ぜひご一報ください。



昨今、様々な企業で“従業員のうつ病”が問題になって来ています。その要因には確かに、効率を求められる職場の“ストレス”もあり得るでしょう。しかし、個人的な日常生活の中にも“うつ病の誘因”は、決して少ないとは言えないのです。

そんな中で、会社は“どこまで”そして“どのように”、この“うつ病”問題と向き合えば良いのでしょうか。そんな“現実的検討”の入り口となる“考え方”を、ご紹介いたします。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>